



# 日進北小だより

令和4年3月1日 3月号 第11号  
電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標：心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する  
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～



## 笑顔と感謝と

校長 平塚 信也

だんだんと暖かさが感じられる3月となりました。学校の桜もよく見ると芽が出て、花を咲かす準備をしています。1年間のもちめとなるこの時期ですが、新型コロナウイルスはまだまだ予断を許さないようです。卒業・修了式まで対応が続きますが、子どもたちには現学年の最後を大切にしてお返し思い出を作ってお卒業・進級してもらいたいと思います。

さて、先月は中国で冬季オリンピックが開かれました。私も日本人の活躍に心躍らされて、にわかファンとなりテレビ観戦をしました。特に銀メダルをとったカーリングには夢中になりました。ゲーム自体のおもしろさや、失敗あり、逆転ありのハラハラドキドキする展開にも引きつけられましたが、どんな場面でも笑顔を作り、自分を鼓舞し、仲間を応援するチームの姿に、みなさんと同様大きな勇気もらった気がしました。薬は自分にしか効果がありませんが、笑顔には自分だけでなく周りの人も健康にする力があります。しかも笑顔は人に移っていきます。学校にも笑顔があふれるよい場、良い空気を作っていかなければならないと思いました。

6年生の廊下の掲示板に感謝の気持ちを書いたメッセージカードが飾られています。卒業にあたって、ご両親、学校や塾の先生、交通指導員さん、調理員さん、クラブのコーチや友達に感謝の気持ちを伝えていきます。読んでいると思わず笑顔になります。また、一昨日は1年生から5年生が6年生の前でお祝いの言葉や感謝のダンスを披露してくれました。見たり聞いたりしている6年生も笑顔になっていました。笑顔を作るコツのひとつは、感謝することです。我々大人は、今の自分を形作っているものは様々なものだと知っています。どんな経験も、どんな失敗も、どんな挫折も、どんな悲しみも自分を形作っている一部だと考えれば、多くのことに感謝することができます。相手や物事に感謝をしていけば自然と笑顔になってきます。また、感謝された方も悪い気はしませんからお互いが良い関係となります。今日のお話朝会では感謝のことについて話しました。子どもたちにも感謝をすると気分が良くなり笑顔になれることを感じてもらえたらと思います。オリンピックのメダリストも口々に感謝を伝えていました。何事も一人ではできないということを感じ、人が集まるためには感謝が大切だと実感していたのだと思います。

そうはいっても感謝することが難しい時もあります。以前読んだ記事に、「大事なのは面白いことを探し、どんなストレス状況下でも笑うという事が大事です。作り笑いでも効果はあり、笑顔を作ると血流が良くなり、体と心がリラックスします。落ち込んだり、つらかったりする感情はそんなに簡単に変わるものではありません。でも笑顔を作ることは行動です。行動はすぐに変えられます。実は行動を変えているうちに自分が変わる事ってたくさんあるのです。」と書いてありました。

(日本講演新聞) オリンピックのニュースでは、カーリングの選手が「笑うのは覚悟がいる」とも発言していました。私も楽しいことをさがして、色々な人に感謝して、明るく笑顔で今年度を締めくくりたいと思います。

令和3年度最後の学校便りとなりました。今年も新型コロナウイルス禍の1年になりましたが、本校の教育活動への、保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援とご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。令和4年度も子どもたち一人ひとりのやる気を高め、一人ひとりの可能性を広げ、笑顔がいっぱいになる学校を目指していきたいと思っております。